実施性	徳山	山工業高等	等専門学	校 開講年度 平成29	9年度 (20	017年度)	授	業科目	創造製作 I			
空間	科目基	礎情報										
語学科	科目番号	<u>1</u>	0083			———————— 科目区分		専門 / 必修	多			
連座	,					単位の種別と単位	位数	履修単位: 2				
連座						対象学年		2				
### 1942 24 24 25 25 25 25 25	開設期	·	诵年									
日本公司		 数材	なし		ALE-VIDON							
部連目標				免男 北村 健太郎 藤本 浩 鈴木 厚								
19時期時について理解し、実験は乗る報音することができる。 ループリック 「種類がは到達していての世界」、実験は 実験の深していての関係。 「教育のとなって、これでは当ません。」 「教育のとなって、これでは当ません。」 「教育のとなって、これでは当ません。」 「教育のとなって、これでは当ません。」 「教育のとなって、これでは当ません。」 「教育のとなって、これでは当ません。」 「教育の主ないない。」 「会ないないない。」 「会ないないない。」 「会ないないない。」 「会ないないない。」 「会ないないない。」 「おいないないない。」 「おいないない。」 「おいないない。」 「おいないないない。」 「おいないないないないないないない。」 「おいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな				COSPICIO DESCRIPTOR PROPERTY.	, , ,							
#理師が対達レベルの目安			I用421 =	2段は田を起生する ことができる								
理想的な別達レベルの目空 株計製作のの一部では関い、実施 株別の自己のでは理解し、												
理想的な別達レベルの目空 株計製作のの一部では関い、実施 株別の自己のでは理解し、	ルーブ	リック										
実験が南について理解し、実験は 実験が南について国が場合を含く と方できる。 地名日本の 地名日本の				理想的な到達レベルの目を	理想的な到達レベルの目安 標			************************************				
現在日標金 早について優大に報告書を書くこ 対応されていて報告書を書くこ 対応されていて優大に発言を書くこ 対応されていて報告書を書くこ 対応されているのに関する報酬 対応ができる。 対応がしました。												
副造師なモノづくりに関する設計 記憶的なモノづくりに関する設計 決権・発表を行うことができる 大力 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	到達目標	(1)		果について優れた報告書を	果について優れた報告書を書くこ				であり、実験結果について報告書			
製作・発表を行うことができる												
できる。	到達日樰	(2)										
数百方法等	印任口府	(•			, ,	· 2017 7612 CT	1,) _ (_// (
数百方法等	<u></u> 学科の	到達目標	<u></u> 項目とσ)関係								
数音方法等 おのづくりを通じて創造性を置い、メカトロ製品の設計と製作に関する技術を習得することが目標である。基本的には												
おのづくりを辿して創造性を置い、メカトロ製品の設計と製作に関する技術を習得することが目標である。基本的には												
		Д	±.0-	 づくりを通じて創造性を差い、マ	カトロ制ロ	の設計と制作に	関する	古術を翌年	することが日煙である。 其末的には			
U、企画、設計、製作に着手する。	既要		、学生	これで通じて創造性を長い、人 Eそれぞれが自ら発想し、部品を	:用意し、設	計と製作を行う	利する 	文字 日付い	9 ることが日保 このる。 奉本的には			
U、企画、設計、製作に着手する。								得させる。				
3企画に対しては、アイディア発表会で制造製作 1 表表などを通じて、プレゼンデーション能力の向上も図る。			②提示	ミした競技形式のテーマ (競技部	門課題)あ	るいは各自が自	由に選ん	んだテーマ	(自由製作課題) のいずれかを選択			
(画教作途中段階では、毎時間、報告書を提出させ、作品の製作進度などを調査し、適宜指導を行う。 (伝統に、ホームバージを作成させの作行)。 (別様に、ホームバージを作成する。 利用水の評価は、暫宜自い物数の教員による平りである。 利用水の評価は、暫宜自い物数の教員による平りである。 利用水の評価は、暫定的に、実験とアイティア発表を2:1の割合で100点に投算したものとする。 (別差な評析・ 最終的にどのような製作物を作るのを明めま製作に発表会のビデオを見つつ。創造製作の業がます。 1週	受業の進	め方・方法	し、1 ③企画	三囲、設計、製作に有于する。 前に対しては、アイディア発表会	や創告製作	■ 1 発表会などを	诵じて、	プレゼン	テーション能力の向上も図る。			
			④製作	F途中段階では、毎時間、報告書	を提出させ	、作品の製作進	度など	を調査し、i	適宜指導を行う。			
前期末の評価は、暫定的に、実験とアイディア発表を2:1の割合で100点に換算したものとする。 受業計画				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		とめを行う。						
対対 対対 対対 対対 対対 対対 対対 対	主意点		評価に	は、番省貝や侵数の教員による半 5の評価は、暫定的に、実験とア	·均である。 'イディア発	表を2・1の割合	کت ۱۸۸	占に換質した	たものとする。			
週 授業内容 週ごとの到達目標 前年度の創造製作 発表会のビデオを見つつ、創造製作 1週	≅業計	面	ואנטענים		12 12 20	· 文 (- 2 : 10) 日1	1 C 100,	(C) X,71				
13回	又未可	<u> </u>	\ _{\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\}	恒			油ブレ	스페/호디/III				
15tQ			旭	1 技未内台			並佐鹿の創造制 <i>佐</i> τ発主会のビニ→を目っつ、創造制/					
1stQ 部・			1调				Iの授業方針や、最終的にどのような製作物を作るの					
1stQ 別に基礎実験① 別に基礎実験② 別に基礎実験② 別に基礎実験③ 別に基礎実験④ 別に基礎実験④ 別に基礎実験⑤ 別に基礎実験⑥ 別に基礎実験の 別に基礎を得る。 別に基礎に表験⑥ 別に基礎を得る。 別に基礎に表験⑥ 別に基礎を得る。 別に基礎に表験⑥ 別に基礎を得る。 別に基礎に表験の 別に基礎を得る。 別に表がのいたを検討しつつ、アイディア発表会のためのオームページを作成する。 10週 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのホームページを作成する。 11週 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのホームページを作成する。 12週 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのホームページを作成する。 13週 アイディア発表会(第1グループ) 競技自由混在で1人3分程度のアイディア発表を行う。 13週 アイディア発表会(第2グループ) アイディア発表を行う。 15週 報告書を提出し、作業状況 15週 報告書配布 16週 製作⑥ 製作を行う。 製作を行う。 3週 製作⑥ 製作を行う。 30回 製作⑥ 製作の 製作を行う。 30回 製作⑥ 製作を行う。 30回 製作⑥ 製作を行う。 30回 製作⑥ 製作⑥ 製作を行う。 30回 製作を行う。 30回 製作⑥ 製作を行う。 30回 製作⑥ 製作を行う。 30回 製作⑥ 30回 製作を行う。 30回 製作⑥ 30回 製作を行う。 30回 製作⑥ 30回 製作を行う。 30回 製作を行う。 30回 製作の 30回 製作を行う。 30回 製作の 30回 30回の								を理解する。				
1stQ 3週 創造基礎実験② 創造基礎に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造基礎実験⑤ 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 創造型に必要な知識を得る。			2调	創造基礎実験①								
15tQ 創造基礎実験③ 創造製作に必要な知識を得る。 15i回 創造基礎実験④ 創造製作に必要な知識を得る。 15i回 創造基礎実験⑥ 創造製作に必要な知識を得る。 16i回 創造基礎実験⑥ 創造製作に必要な知識を得る。 16i回 割造基礎実験⑥ 創造製作に必要な知識を得る。 16i回 割造基礎実験⑥ 割造製作に必要な知識を得る。 16i回 別方子イア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのカームページを作成する。 17i回 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのホームページを作成する。 17i回 アイディア発表会のためのオームページを作成する。 17i回 アイディア発表会のためのオームページを作成する。 17i回 アイディア発表を行うの 17i回 アイディア発表を行う。 17i回 アイディア発表を作う。 17i回 アイディア発表を作う。 17i回 ヤードの製作を行う。 17i回 中の開題点などを報告する。 17i回 製作② 製作を行う。 27i回 製作② 製作を行う。 27i回 製作③ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 中間検査① 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 中間検査の 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作を行う。 27i回 製作の 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作⑥ 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作⑥ 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作を行う。 27i回 製作⑥ 製作⑥ 製作の 製作⑥ 製作の 製作の 製作を行う。 27i回 製作の												
5週 創造基礎実験④ 創造製作に必要な知識を得る。 6週 創造基礎実験⑤ 創造製作に必要な知識を得る。 1月		1stQ										
6週 創造基礎実験⑤ 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 競技部門テーマ発表 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのオームページを作成する。 10週 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのオームページを作成する。 11週 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのオームページを作成する。 12週 アイディア発表会のためのHP作成 アイディア発表会のためのオームページを作成する。 13週 アイディア発表会(第1グループ) 競技自由混在で1人3分程度のアイディア発表を行う。 15週 報告書配布 16週 製作⑥ 製作を行う。 類作を行う。 3週 製作⑥ 製作を行う。 3週 製作を行う。 3週 製作⑥ 製作を行う。 製作を行う。 製作を行う。 製作を行う。 製作を行う。 製作の 製作を行う。 製作を行う。 製作の 製作の 製作を行う。 製作を行う。 製作の 製作の 製作の行う。 対しの対しに対しました。 対しの対しに対しました。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行う。 製作の行り。 製作の行う。 製作の行うをにないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが見ないまたが												
7週 創造基礎実験⑥ 創造基礎実験⑥ 創造製作に必要な知識を得る。 創造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 割造製作に必要な知識を得る。 競技部門テーマ発表												
割週 創造基礎実験⑦	前期											
対対									•			
10週 アイディア発表会のためのHP作成			8週	創造基礎実験⑦	創造基礎実験⑦							
2ndQ			O)E	競技部門テーマ発表	アイディア発表会のためのHP作成			競技部門および自由部門を選択し、どのような作品 作るのかを検討しつつ、アイディア発表会のための				
2ndQ アイディア発表会のためのHP作成 (基礎実験の予備日) アイディア発表会のためのホームページを作成する。 11週 アイディア発表会のためのHP作成 (基礎実験の予備日) アイディア発表会のためのホームページを作成する。 12週 アイディア発表会のためのHP作成 (基礎実験の予備日) アイディア発表会のためのホームページを作成する。 13週 アイディア発表会(第1グループ) (基礎実験の予備日) 競技自由混在で1人3分程度のアイディア発表を行う。 14週 アイディア発表会(第2グループ) (日の製作を行う。毎回、報告書を提出し、作業状況で問題点などを報告する。 報告書を提出し、作業状況で問題点などを報告する。 16週 製作① 製作を行う。 3週 製作を行う。 3mg 製作の 4週 製作を行う。 3週 製作を行う。 3mg 製作の 3個 製作を行う。 5週 製作の 3個 製作を行う。 7週 中間検査① 製作を行う。 2単作を行う。 3週 製作の 3個 製作を行う。 4thO 製作を行う。 製作を行う。 4thO 製作を行う。			り辿	アイディア発表会のためのH				一人ページを作成する。				
2ndQ 11週 (基礎実験の予備日)			10,⊞	アイディア発表会のためのH								
2ndQ 12週			10週	(基礎実験の予備日)			アイテ	イア宪衣会	のにめのホームペーンを作成する。			
2ndQ 12週 アイディア発表会のためのHP作成 (基礎実験の予備日) アイディア発表会のためのホームページを作成する。 競技自由混在で1人3分程度のアイディア発表を行う。 現代するで発表を行う。 14週 アイディア発表会(第2グループ) アイディア発表を行う。 15週 報告書配布 作品の製作を行う。毎回、報告書を提出し、作業状況や問題点などを報告する。 1週 製作② 製作を行う。 2週 製作の 製作を行う。 3週 製作④ 製作を行う。 4週 製作の 製作を行う。 5週 製作の 製作を行う。 7週 中間検査① 製作を行う。 資結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作の 製作を行う。 4thO 製作の 製作を行う。 4thO 製作の 製作を行う。			11调	1週 アイディア発表会のためのHP作成			 アイデ	のためのホームページを作成する。				
12週		2nd0										
13週 アイディア発表会(第1グループ)		ZHUQ	12週	(基礎実験の予備日)			アイデ	ィア発表会	Dためのホームページを作成する。			
14週 アイディア発表会 (第2グループ) アイディア発表を行う。 15週 報告書配布 作品の製作を行う。毎回、報告書を提出し、作業状況や問題点などを報告する。 16週 製作② 製作を行う。 2週 製作③ 3週 製作④ 製作を行う。 4週 製作⑤ 数別を行う。 6週 製作⑥ 契権を行う。 6週 製作⑦ 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作⑥ 4thO			13调				 競技自由混在で1人3分程度のアイディア発表を					
15週 報告書配布 16週 製作① 作品の製作を行う。毎回、報告書を提出し、作業状況や問題点などを報告する。 1週 製作② 製作を行う。 2週 製作③ 製作を行う。 3週 製作④ 製作を行う。 4週 製作⑤ 製作を行う。 5週 製作⑥ 製作を行う。 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作⑧ 製作を行う。 4th〇 製作を行う。												
期 担遇 製作① 作品の製作を行う。毎回、報告書を提出し、作業状況や問題点などを報告する。 1週 製作② 製作を行う。 2週 製作③ 製作を行う。 3週 製作④ 製作を行う。 4週 製作を行う。 5週 製作⑥ 製作を行う。 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作⑥ 製作を行う。 4th〇 製作 製作を行う。							7 17 17 761X C11 7 0		11 20			
10년 製作① 製作② 製作を行う。 1週 製作② 製作を行う。 3週 製作④ 製作を行う。 3週 製作④ 製作を行う。 4週 製作⑥ 製作を行う。 1週 製作を行う。 1週 製作⑥ 製作を行う。 10回目の中間検査を受ける。 1週 製作》 製作を行う。 10回目の中間検査を受ける。 1週 製作⑥ 製作を行う。 10回目の中間検査を受ける。 1週 製作⑥ 製作を行う。 10回目の中間検査を受ける。 1週 製作⑥ 製作を行う。 10回目の中間検査を受ける。 1回目の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を受ける。 1回回の中間検査を使ける。 1回回の中間検査を使ける。 1回回の中間検査を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を							作品の製作を行う。毎回、報告書を提出し		毎同一起生津を提出し、佐業は温			
2週 製作③ 3個 製作④ 製作を行う。 4週 製作⑤ 製作を行う。 5週 製作⑥ 製作を行う。 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作® 製作を行う。 4th〇 製作 製作を行う。			16週	製作①								
2週 製作③ 3個 製作④ 製作を行う。 4週 製作⑤ 製作を行う。 5週 製作⑥ 製作を行う。 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作® 製作を行う。 4th〇 製作 製作を行う。	後期		1週	製作②			製作を	行う。				
3개dQ 製作④ 製作を行う。 4週 製作⑤ 製作を行う。 5週 製作⑥ 製作を行う。 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作⑥ 製作を行う。 4th〇 製作 製作を行う。			2週	製作③	•							
4週 製作⑤ 製作を行う。 5週 製作⑥ 製作を行う。 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作® 製作を行う。 4th〇 製作 製作を行う。												
3rdQ 5週 製作⑥ 製作を行う。 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作® 製作を行う。 4thQ 製作® 製作を行う。												
後期 6週 製作⑦ 製作を行う。 7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作® 製作を行う。 4th〇 製作® 製作を行う。		3rdQ										
7週 中間検査① 製作期間の途中で作品の1回目の中間検査を受ける。 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作® 製作を行う。 4thQ 製作9 製作を行う。												
プロ THINKELU 査結果を踏まえて製作を続行する。 8週 製作® 製作を行う。 4thO 製作 製作を行う。							1=11.					
9週 製作⑨ 4th〇 製作を行う。			/週	中間 梗 貸①	I間検査① 			査結果を踏まえて製作を続行する。				
14th()		L_	8週	製作®	製作⑧							
14th()		4.1.6	9週									
		4thQ										

11週 製作①	三、創造製作 I のホーム 到達レベル 授業週 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16
13週 製作② 製作を行う。	別達レベル 授業週 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16
14週 創造製作発表会① 作品の発表会を行う。 15週 第14週と同日開催 作品の発表会を行う。 16週 最終HP作成 作品の発表会を行う。 作品の発表会を行う。 作品の発表会を行う。 作品の発表会を行う。 でおります。 では、	別達レベル 授業週 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16
第14週と同日開催	別達レベル 授業週 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16
TOND 取終FIPTER	別達レベル 授業週 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16
分類学習内容学習内容の到達目標到3工学が関わっている数々の事象について、自らの専門知識を駆使して、情報を収集することができる。 集められた情報をもとに、状況を適確に分析することができる。 2 与えられた目標を達成するための解決方法を考えることができる。 2 サラストの大きできる。 2 ・ 大況分析の結果、問題(課題)を明確化することができる。 2 各種の発想法や計画立案手法を用いると、課題解決の際、効率的、合理的にプロジェクトを進めることができることを知っている 2 ・ 各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合理的にプロジェクトを進めることができる。 2 	後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16
専門的能力 の実質化	後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16 (後16
PBL教育	後16 後16 是 後16 是 後16 是 後16 是 後16
PBL教育	後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16 2 後16
PBL教育 PBL教育 PBL教育 PBL教育	後16 後16 後16 後16 後16 後16
専門的能力の実質化 専門的能力の実質化 「中間の能力」の実質化 「中間の能力」の実質化 「中間の能力」の実質化 「中間の能力」の実質化 「中間の能力」の実質化 「中間のに対している。」 「中間のに対している。」 「中間のに対している。」 「中間のに対している。」 「中間のは、大きないできる。」 「中間のでは、大きないできる。」 「中間のできる。」 「中間の知識・教養が、企業及び社会できる。」 「中間のは、「中間のできる。」 「中間のできる。」 「中のできる。」 「中でできる。」 「中でできる。」 「中でできる。」 「中でできる。」 「中で	後16 後16 後16 後16
	後16 後16 後16
専門的能力 の実質化 ジェクトを進めることができる。	後16
の実質化 の実質化 でどのように活用されているかを理解し、技術・応用サービスの 2 実施ができる。 地域や企業の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。	後16
ることができる。 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
対術者として、生きろうがや誇りを実成し、知恵や成性、チャレー	後16
共同教育 共同教育 共同教育 共同教育	
技術者として、社会に対して有益な価値を提供するために存在し 、社会の期待に十分応えられてこそ、存在の価値のあることを理 2 解できる。	後16
企業人としても成長していく自分を意識し、継続的な自己研さん や学習が必要であることを理解できる。	後16
集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のた めに合意形成ができる。	性 後16
目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び 合意形成の上で実現していくことができ、さらに、合意形成のた 2 めの支援ができる。	後16
ICTやICTツール、文書等を基礎的な情報収集や情報発信に活用できる。	後16
ICTやICTツール、文書等を自らの専門分野において情報収集や 情報発信に活用できる。	. 後16
現状と目標を把握し、その乖離の中に課題を見つけ、課題の因果 汎用的技能 汎用的技能 汎用的技能 汎用的技能 汎用的技能 汎用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能 別用的技能	後16
現状と目標を把握し、その乖離の中に課題を見つけ、課題の因果 関係や優先度を理解し、発見した課題について主要な原因を見出 し、論理的に解決策を立案し、具体的な実行策を絞り込むことが できる。	後16
事象の本質を要約・整理し、構造化(誰が見てもわかりやすく)できる。 2	後16
複雑な事象の本質を整理し、構造化(誰が見てもわかりやすく	後16
身内の中で、周囲の状況を改善すべく、自身の能力を発揮できる 2	生 後16
	2 後16
態度・志向 性(人間力) 性 態度・志向 性(人間力) 性 態度・志向 性(人間力) 性 態度・志向 性(人間力) と しい状態を維持するための努力を怠らない。	性 後16
ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに 2、目標達成のために対処することができる。	性 後16
は、	後16
造的思考力 造的思考力 造的思考力 造的思考力 造的思考力 造的思考力 を理解し、設計解を創案できる。さらに、創案した設計解が要求 2 を解決するものであるかを評価しデザインすることができる。	後16
評価割合	
光衣	HP評価 合計
総合評価割 20 10 3 7 7 3 10 20 20	100

到達目標①	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20
到達目標②	0	10	3	7	7	3	10	20	20	80